

一般

段級

漸々早加と云宿にたどりて、度骨の肩に

かゝれる物、先くるしむ。唯身すがらにと楸

出立侍るを糸子一衣は夜ル臥為と云

〔奥の細道〕
 やつとのこと草加という宿にたどり着いた。
 やせ細った肩にかかる荷物（の重さ）がまず
 （私を）苦しめる。ただ身ひとつと出発するの
 ですが、紙子一衣は夜（の寒さ）を防ぐために

